

# 好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 7. 12. 8

発行ナンバー 1235号

(鈴木主将の代・・37号)

## 感謝を忘れずに

- ◎ 内野用の黒土、砂を購入していただきます。
- ◎ 人工芝全体のメンテナンスをしていただきます。
- ◎ 内野に撒く塩化カルシウムを購入していただきます。

オフシーズンになった関係で、事務室の方々に様々なことをしていただきます。最近、「予算がない」の一言でこれらのことをしていただけないという学校関係者の方の話をよく聞きます。

野球のしやすい環境を当たり前と思わず、「感謝の心」を持つようにして下さい。

## 変化



ネコ6匹を飼うようになってから私の生活面に明らかな変化が・・帰宅が早くなっています。我が家家の家族構成、人間（オス1・メス3）ネコ（オス1・メス5）だからですかね・・唯一のオスネコは、帰宅すると必ず決まった場所に私を導き、全身を撫でてくれというようにお腹を見せます（しばらく撫でてあげます）。

私51歳、オスネコ3歳とのお付き合い、また報告させていただきます。

## 栄光のバックホーム

野球人として、阪神ファンとして、また、東京ドームで彼のプレーを生で観戦した者として、この作品は映画館へ行くべき・・そんな気持ちになり、現在公開されている「栄光のバックホーム」を観に行ってきました。

横田慎太郎選手、彼のことはこの通信でも過去に取りあげさせていただいている。プロ在籍中に脳腫瘍であることが判明、壮絶な闘病生活を経て、28歳で永眠されている方です。

本を読んだ時もそうでしたが、映画を鑑賞して一番感じたのは、母親の（息子に対する）愛情です。映画の中で、「あの子の母親は私しかいませんから」というセリフが出てきます。私自身が母と死別しているからでしょうか？母ちゃんが生きていればなあ、今、母ちゃんと話したいなあ・・そんな風に思いました。

印象に残る言葉は他にも・・親友という形で描かれている北条選手に対して横田選手は、ベッドの上からこのように語りかけます。「戦い続ける選手に負けはない」本当にその通りだな・・と。

また平泉成さん演じる近所の人？は横田選手に、「一日一生」という言葉を贈ります（一日が一生である。今日は今日で終わり、明日はまた新しい自分で進んでいけばよい）。これ、健康な人ほど忘れるがちなことではないでしょうか？

ぜひ観ていただければと思います。

彼を好きになると同時に阪神のことも（少し）好きになると思います・笑。